

平成21年度 決算のあらまし



本組合の平成二十一年度の決算が去る六月三十日に開催された第一六四回組合会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

組合員数及び被扶養者数とも昨年度に引き続き減少となりました。また、平均給料月額も大幅に減額となりました。

総括事項

● 組合を構成する市町村等の数

区分	平成20年度	平成21年度	比較増△減
市	32	32	0
町	10	10	0
村	2	2	0
一部事務組合	44	43	△1
計	88	87	△1

● 組合員数・被扶養者数

一般組合員	22,880人	(前年度比較 △582人)
市町村長組合員	42人	(〃 0人)
市町村長長期組合員	2人	(〃 0人)
特定消防組合員	3,985人	(〃 △32人)
長期組合員	2人	(〃 2人)
計	26,911人	(〃 △612人)
任意継続組合員	1,175人	(〃 9人)
被扶養者	29,614人	(〃 △858人)

● 平均給料月額

長期	335,948円	(前年度比較 △3,944円)
短期	334,816円	(〃 △3,995円)

短期 経理

支出増により厳しい運営

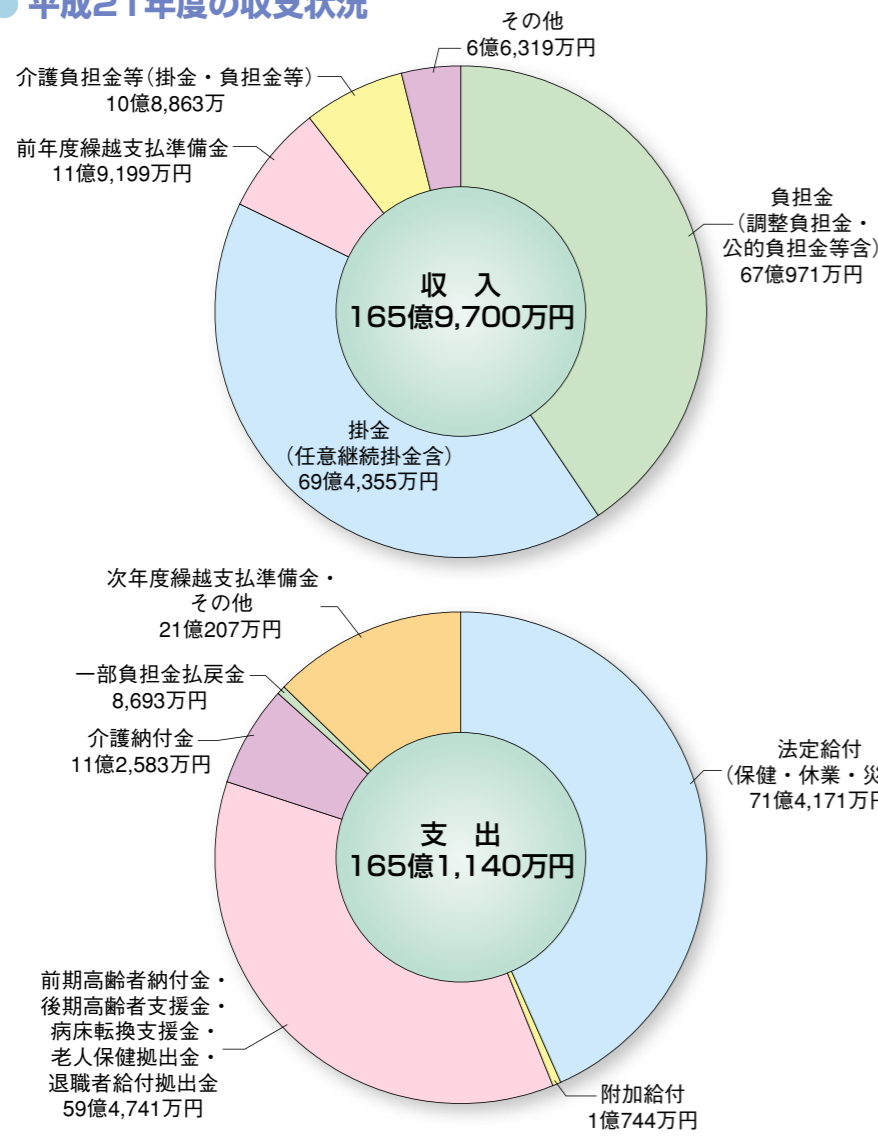
この経理は、組合員や家族の皆さんが病気やケガをした時や、出産、死亡、その他災害が生じた場合などに行う医療費等の給付と、前期高齢者納付金を始めとした各種拠出金の納付並びに介護保険料の収納業務を行っています。

平成二十一年度の給付金総額は約七十二億五千万円で前年度より約一億九千万円減少しましたが、各種拠出金の支出は約五十九億四千万円で、前年度より約三億円増加しました。収入においては、掛金負担金率の引上げを図ったことにより何とか財源を確保することができましたので、短期給付（拠出金の支出を含む）に係る収支では、約八千五百万円の当期利益が生じました。

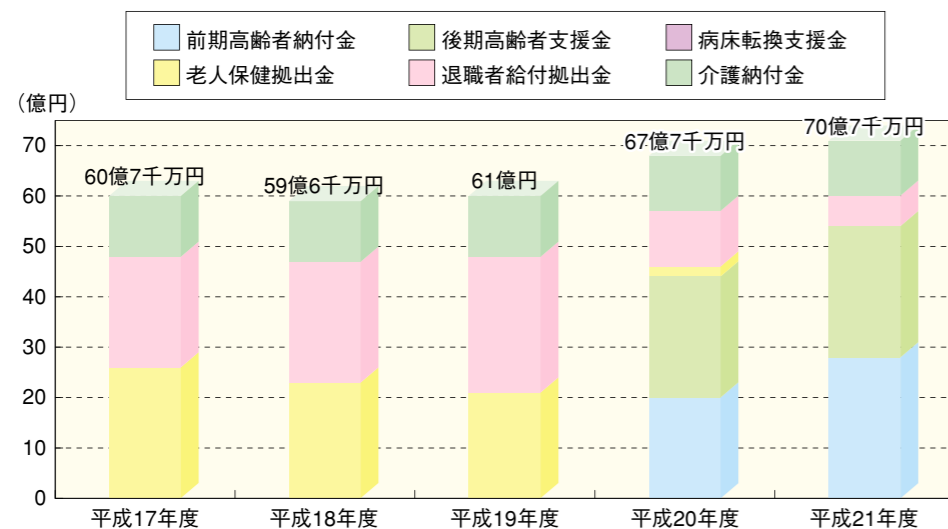
一方、介護保険の収支状況は、介護納付金等の支出が約十一億三千万円なのに対し、介護掛金負担金等の収入が約十億九千万円で、約三千八百万円の当期損失が生じました。

短期経理を健全に運営していくには、組合員と家族の皆さんの健康管理の取り組みと医療機関等への適正な受診のご協力を引き続きお願いすることになります。また、各種拠出金の総額が六十億円に迫っており、掛金負担金収入に占める割合も約四十四％に達していることから、保険者としては、国に対しこれら拠出金の負担軽減を求める取り組みが重要になってきます。

● 平成21年度の収支状況



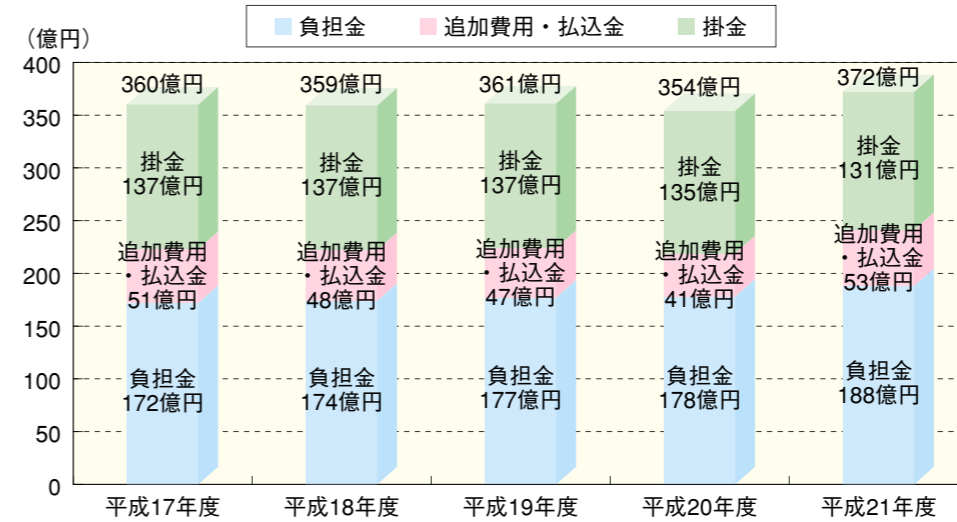
● 各種拠出金の推移



長期 経理

年金の決定・支給等は
市町村連合会が
行っています

掛金・負担金等収入



組合員の皆さんが退職後に受給される退職共済年金や障害共済年金、遺族共済年金などの各種共済年金等の決定・支給及び年金積立金の運用は、平成十九年度より全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」）が集約して一元的に処理しています。

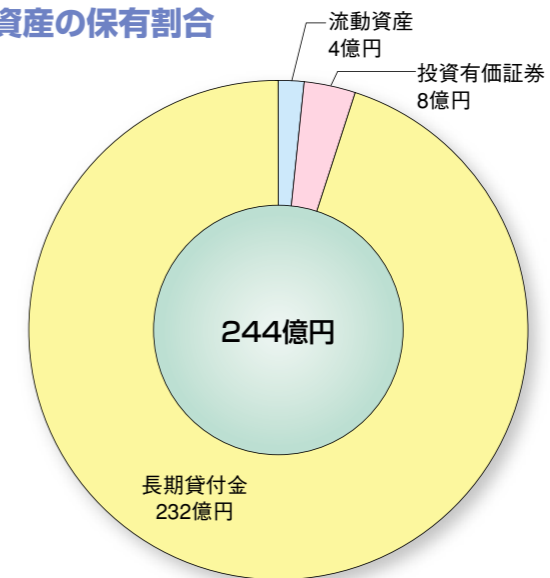
この経理は、組合員の皆さんからお預かりする掛金及び地方公共団体からの負担金の納入と、これら収入金を市町村連合会へ払い込むための経理となります。

平成二十一年度の収入金額は、掛金と負担金を合わせて約三百七十二億円となりました。

預託金 管理経理

年金積立金を運用

資産の保有割合



この経理では、市町村連合会から預託された年金積立金の一部を管理・運用しています。

運用の内容は、おもに、貸付及び物産経理への資金の貸付のほか、地方公共団体より引き受ける縁故地方債等で、約二百四十億円を保有しています。

なお、これらの預託された資産は、年金積立金の一部として、安全かつ効率的な運用に努めています。

業務 経理

この経理は、組合員一人あたり年額九千六百円の地方公共団体負担金と短期経理からの繰入金金を財源に、医療費の支払や年金の給付などを行うために必要な人件費及び事務費、その他共済組合が運営に要する諸費用を賄っています。

これからも、経費の節減になお一層努めてまいります。

保健 経理

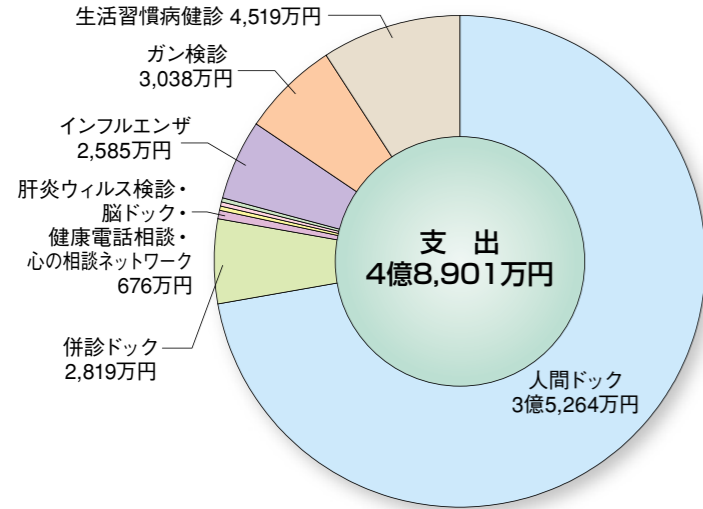
人間ドック利用者が増加
当期損失金を計上

この経理は、医療費の増高対策の一環として、組合員の皆さんとご家族の健康保持増進を図るため、各種健診をはじめとする福利厚生事業を行っています。平成二十一年度の収支状況は、掛金の減少等により約五千七百万円の損失金が生じたので、積立金を取り崩して補てんしました。

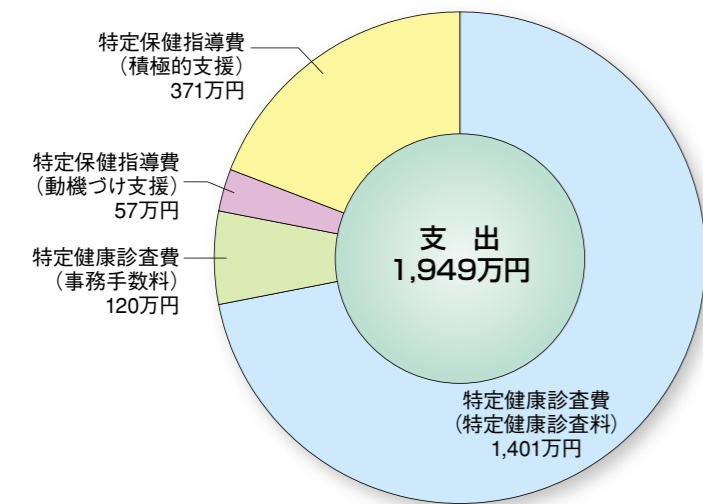
この経理の財政状況は、組合員数の減少により収入が年々減少する一方、法令化された特定健診の実施や人間ドック利用者の増加により、支出は増大し深刻なものとなっています。

このため、費用縮減を図るため平成二十二年度から事業の見直しを行いました。今後この経理を健全に運営していくため有益な事業の推進に向けて努めていきますので、組合員の皆さんも、各種保健事業に積極的に参加してください。

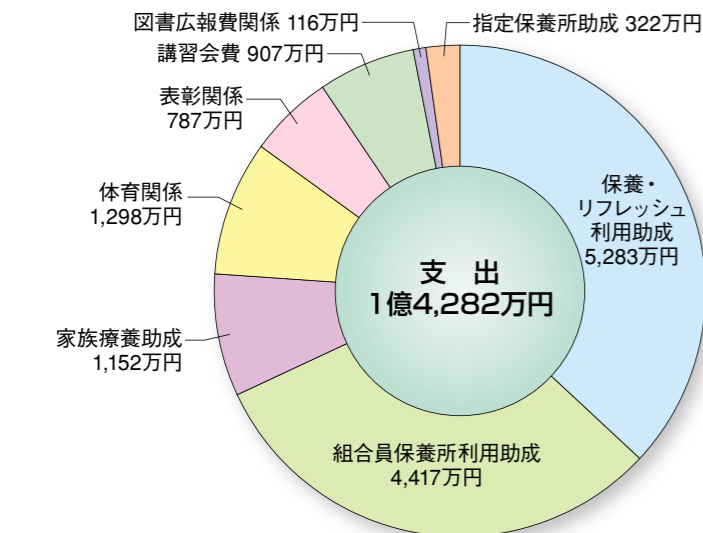
健康づくり事業費



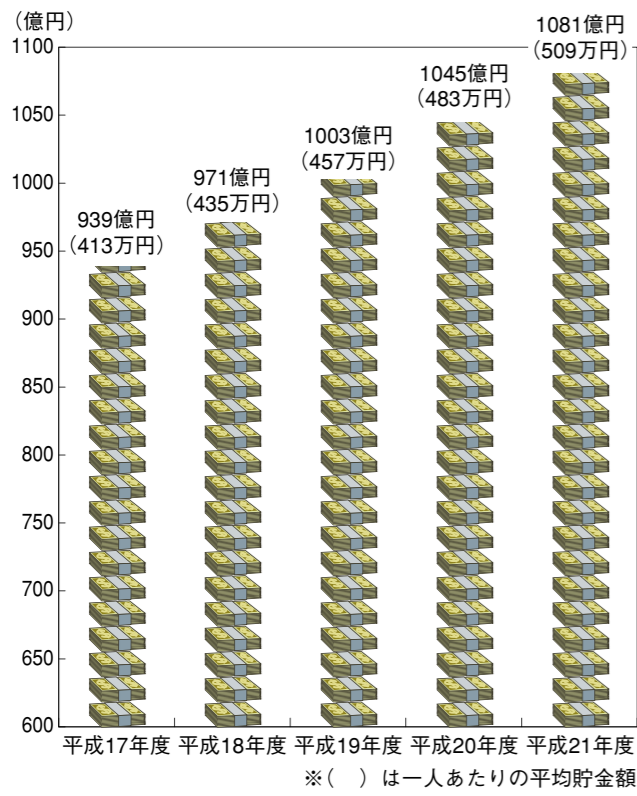
特定健康審査等費



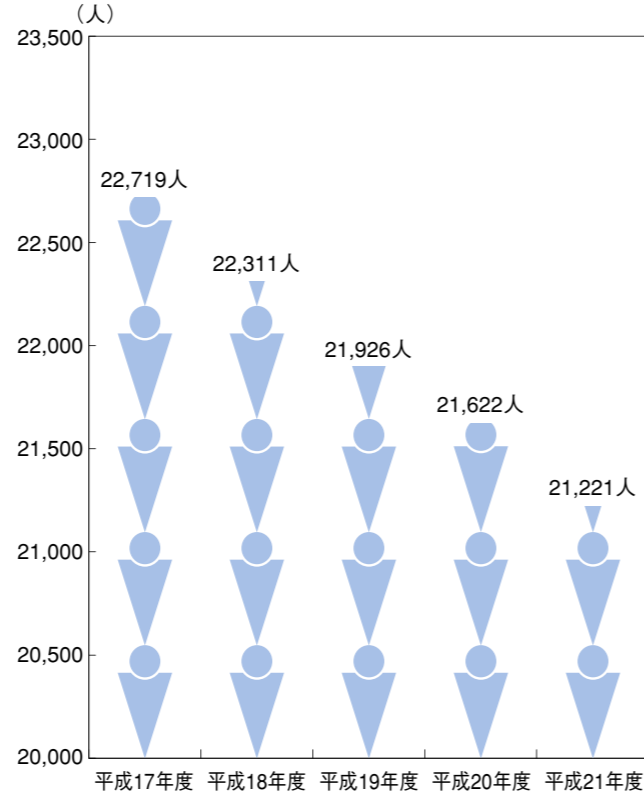
助成・講習会・競技会等



● 貯金残高の推移



● 組合員貯金加入者数推移



平成21年度末現在

● 貯金経理の資産構成

(単位：百万円)

資産の種類	金額	構成割合
普通預金	11,473	9.33%
定期預金	3,400	2.77%
有価証券	107,827	87.71%
その他	234	0.19%
合計	122,934	100.00%

● 有価証券の内容

(単位：百万円)

種類	金額	構成割合
国債	20,461	18.98%
地方債	14,841	13.76%
政府保証債	5,494	5.10%
公社公団債	20,173	18.71%
利付金融債	300	0.28%
社債	6,962	6.46%
円貨建外国債	39,596	36.71%
合計	107,827	100.00%

※ 社債については、公共性・安全性の高い電力債券等を保有しています。

※ 円貨建外国債については、国際機関、外国政府又は政府保証債にあたる外国法人が発行するもので、格付機関からAAA格の格付を取得しているものを保有しています。

平成二十一年度の決算をもとに、貯金経理の貸借対照表を下記のとおり掲載します。
収支決算の結果、約六億円の利益金が生じましたが、皆さんからお預かりした大切な資金であることから、踏まえ、今後も安全性を最優先に効率的な運用を行ってまいります。

共済貯金の運用状況

● 平成21年度決算 貸借対照表

(単位：百万円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金	11,473	組合員貯金	108,092
定期預金	3,400	流動負債	376
有価証券	107,827	固定負債	61
その他	234	剰余金	14,405
合計	122,934	合計	122,934

※ 剰余金には、将来の欠損金の補てんに充てるための法定積立額を含んでいます。

貯金 経理

共済貯金残高は過去最高額！

— 支払利率は1・92% —

この経理は、共済貯金に加入されている組合員の皆さんからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用し、有利な利率で還元することにより、健全な財産形成を図ることを目的としています。(詳しい運用状況については、別に掲載していますのでご参照ください。)
平成二十一年度末の貯金残高は約千八百億円で、前年度より約三十五億円増加し、過去最高額を達成しました。
一方、加入者数は二二、二二一人で、平成二十年度より四〇一人減となり、組合員数の減少傾向が貯金加入者数にも影響を与えていることがうかがえます。これらの結果、一人当たりの平均貯金残高は約五百万円になり、平成二十年度より約二〇万円増加しています。
現在の利率は、年利一・九二%と、市中金利と比べ大変有利になっていますので、ぜひご利用ください。

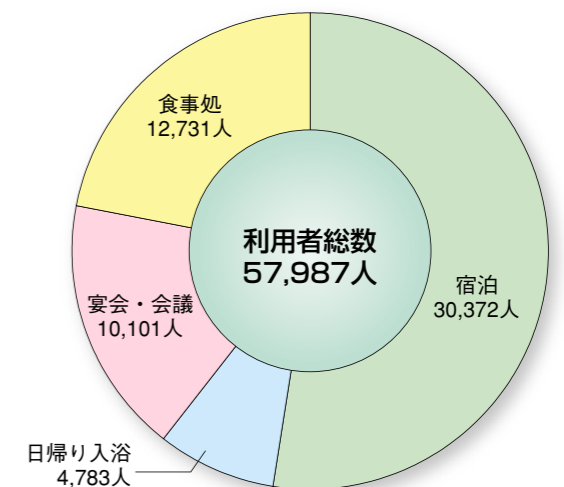
宿泊 経理

『大洗鷗松亭』

日帰り部門実績過去最高！

この経理は、保養所「大洗鷗松亭」を運営するための経理です。
オープン以来、組合員の皆さんはもとよりご家族ご友人等たくさんの方々にご利用いただき誠にありがとうございます。
本年度の利用者総数は約五万八千名を数え、その内宿泊利用者が過半数を占めています。
部門別に見ますと、宿泊者数は昨年度より減少したものの、「水輝」のランチタイムの利用や日帰り入浴は年々増加傾向にあり、日帰り部門の合計利用者数はオープン以来最高となる実績を達成することができました。
和風造りのやすらぎある保養所「大洗鷗松亭」では、皆さんに心身ともにリフレッシュしていただけるよう、職員一同精一杯努力してまいります。
組合員の方の予約受付は四ヵ月前からとなっていますので、今後とも皆さんのご利用を心よりお待ちしております。

● 施設の部門別利用状況

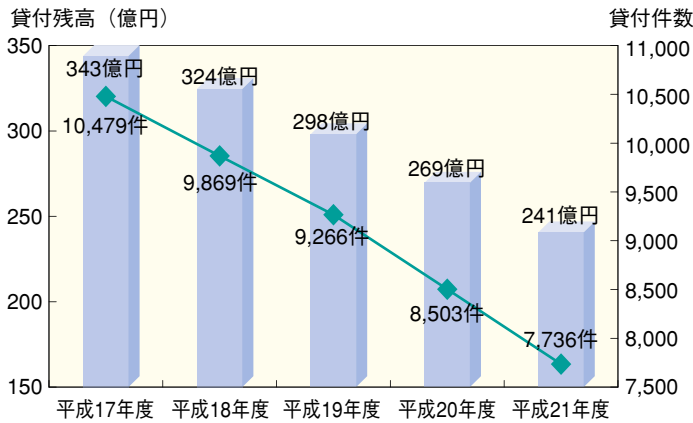


貸付 経理

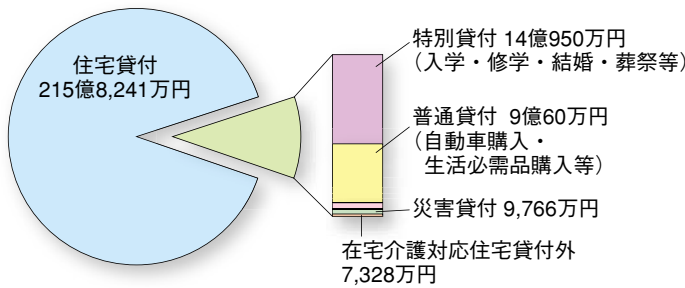
生活に必要な資金は

貸付事業で！

● 組合員貸付の残高・件数の推移



● 組合員貸付金残高の構成割合 (総額241億円)



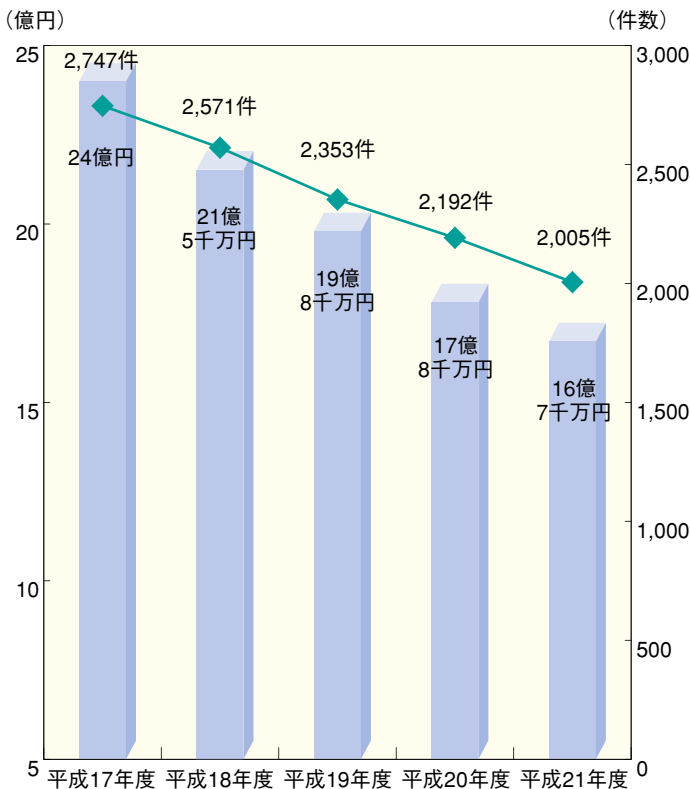
この経理は、住宅資金など生活に関連した資金の貸付を行っています。平成二十一年度末の総貸付件数は、七、七三六件で前年度に比べて七六七件減少し、貸付金残高も約二四〇億円と前年度より約二九億円減少となりました。近年貸付事業利用は減少傾向ですが、その理由は、適正な貸付を行うために審査基準を厳格化したことや組合員数の減少による影響と考えられます。今後の金利情勢によっては、上限利率の低い貸付事業を利用することは有効な手段であると思われます。ぜひご利用ください。

物資 経理

マイカー購入には

物資事業を！

● 物資立替金残高及び件数の推移



この経理は、マイカー購入資金の立替えを行っています。組合員数の減少等により、平成二十一年度の物資立替金残高は、約一六億円で前年度に比べ約一億円減少し、件数も二、〇〇五件で一八七件の減少となっています。組合員であればごなたでも最高二〇〇万円までの物資立替を利用できます。また、特約店契約をしていない自動車販売会社から自車を購入した場合でも、組合員の方が手数料を支払うことにより物資事業を利用できますので、ぜひご利用ください。